

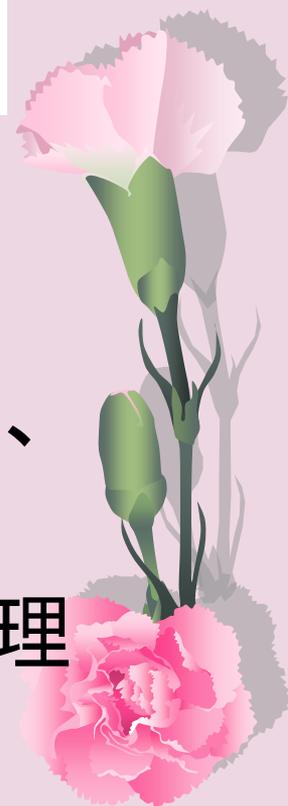
# コフナ施用によるトルコギキョウ 発根状況における考察

試験地：長野県

## 【目的】

コフナによる土壌改良を行い、生育を促進し、  
花のボリュームアップを目指す。

コフナ1号連年施用やフランスコフナ表層処理  
の効果の確認を行う。



# 方法(コフナ施用2年目)

❁ 場所(長野県佐久地方)・・・強粘土質

区画:A区(コフナ1年目)

B区(コフナ2年目)

C区(無処理区)

❁ 方法

コフナ1号をA・B区に土壤混和(定植2週間前)

施肥量:コフナ1号 15袋/10a(A・B区のみ)

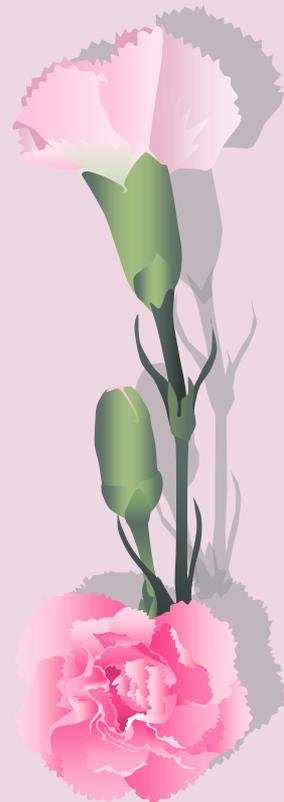
バーク堆肥 10t/10a、育王、その他

❁ 耕種概要

定植:2005年6月上旬(品種:羽衣)

第1回収穫:同年9~10月(通常では10月から収穫)

第2回収穫:同年10~11月



**A区(コフナ1号全層混和1年目)**  
**1回目収穫後**

**C区(無処理区)**  
**1回目収穫中**

**B区(コフナ1号全層混和2年目)**  
**2回目まもなく収穫**

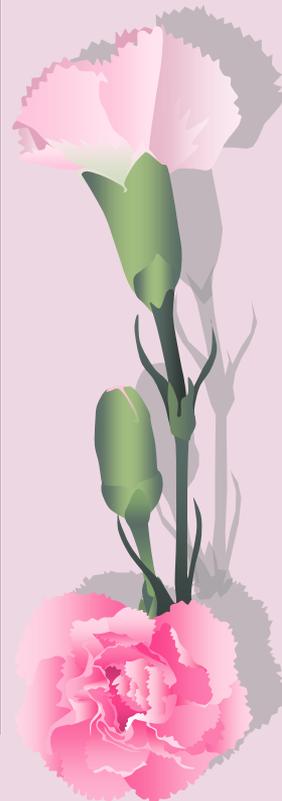
(撮影日:2005. 9. 30)

# 根数・根長（主根・ごぼう根）

10月7日調査 ※B・C区収穫中

	A(コフナ1年)	B(コフナ2年目)	C(無処理)
採取根数	8本	13本	7本
長さ (cm)	14.4	17.1	13.5
	13.1	16.4	13.0
	13.0	16.0	12.4
	12.0	15.0	11.2
	11.5	14.0	9.0
	10.7	14.0	8.5
	9.5	14.0	5.5
	9.0	13.0	
		13.0	
		10.0	
		7.0	
		7.0	
平均	11.65cm	12.03cm	10.44cm

※トルコギキョウは長くて根数6-7本とのこと



# コフナ施用2年目 根比較写真

(コフナ1年目)



(コフナ2年目)



(無処理)



10月7日調査



# 結果

- ❁ コフナ区において、根数・根長に差が出た。  
特に2年目については1年目を上回る結果となった。  
花数についても20～30輪とボリュームもアップした。

※通常は10～15輪

- ❁ (生産者の感想)切った後のつぼみの花色の色あせが少ない。
- ❁ (生産者の感想)日持ちが通常に比べて伸びた。



# 方法(コフナ施用3年目)

## ❁ 場所(長野県佐久地方)

区画:無処理区

フランスコフナ区

※両区とも2年連続コフナ施用圃場

## ❁ 方法

フランスコフナを試験区のみに表層散布(定植後の株元)

施肥量:フランスコフナ 7袋/10a

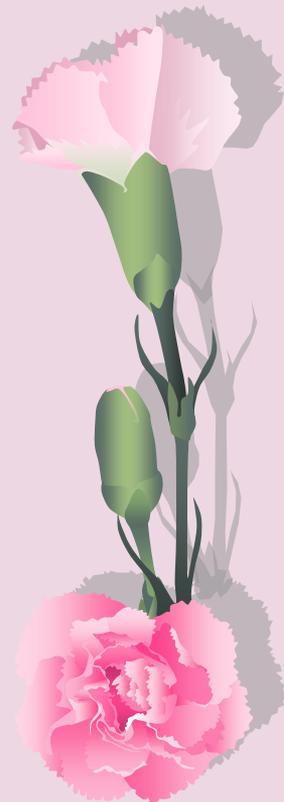
バーク堆肥、育王、その他

## ❁ 耕種概要

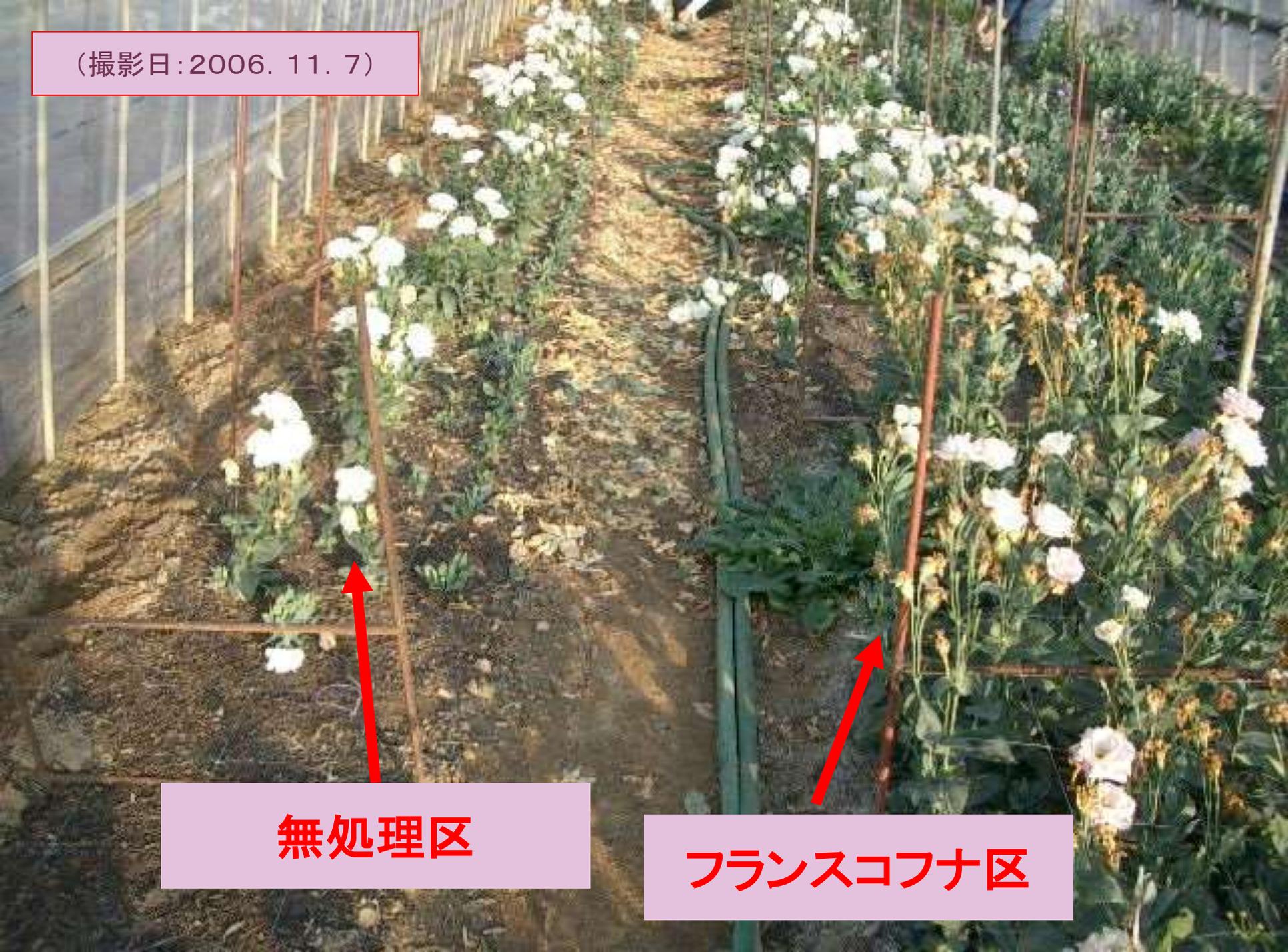
定植:2006年7月末(品種:エクローサホワイト)

第1回収穫:同年9~11月(通常では10月から収穫)

第2回収穫:同年10~12月収穫



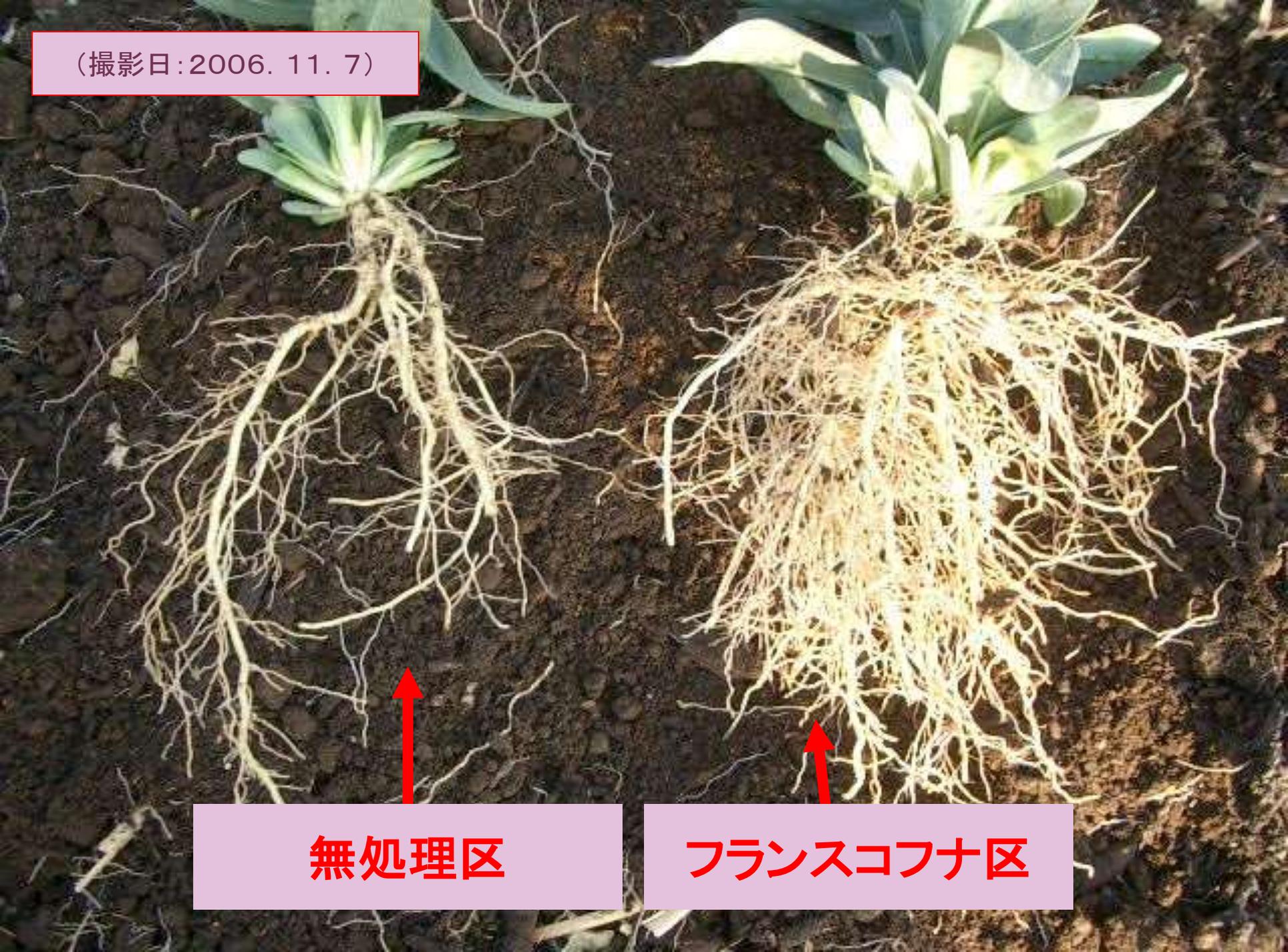
(撮影日:2006. 11. 7)



無処理区

フランスコフナ区

(撮影日:2006. 11. 7)



無処理区

フランスコフナ区

(撮影日:2006. 11. 7)



# 結果

- ❁ フランスコフナ区のほうが細根数が多かった。  
定植後1ヶ月過ぎでコフナ区のほうが生育が進んだ。  
根の途中のサビ(茶色)がなかった。

## 生産者感想として

・ボリューム多し(20~30輪)

＜フランスコフナ区＞

・色よし

＜無処理区＞



# 今後のコフナ施用法について

- ❁ フランスコフナの表層散布（株もと処理）
  - ・定植までに時間がない場合や、  
既に定植した場合には非常に有効  
(※コフナ1号・MPを全層混和処理できない場合)

## <問題点・改善点>

- ・マルチングしている場合の処理方法
- ・深根性の作物への使用

